3 使いかた

使用上の注意

⚠注意
- **本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
- **本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● PC連動AUTO電源機能について
- 本製品のスイッチを正しく設定すると、USBから電源が供給されたときに電源がONになります。【P8】
- 本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、ハードディスクを使用できません。
- パソコンの電源スイッチをOFFにしてからハードディスクのパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- ACアダプタ付きのUSBハブにハードディスクを接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしてもハードディスクのパワーランプは消えません。ハードディスクの電源をOFFにするか、USBハブからハードディスクを取り外してください。

● 本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P18】

● MacOS8.6※搭載のMacintoshを使用している場合は、パソコン起動前に本製品の電源スイッチをOFFにしておき、パソコン起動後に電源スイッチをONにしてください（PC連動AUTO電源機能は使用できません）。本製品の電源がONの状態でパソコンを起動すると、本製品が正常に認識されないことがあります。

※ MacOSの他のバージョンが搭載されている場合、上記の問題は発生しません。MacOSのバージョンは、アップルメニューの［このコンピュータについて］または［このMacについて］をクリックすると表示されます。

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P16「ハードディスクの取り外しかた」】

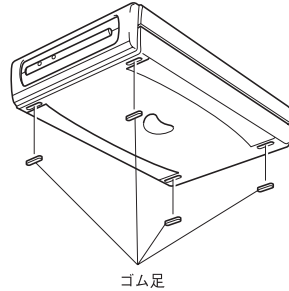
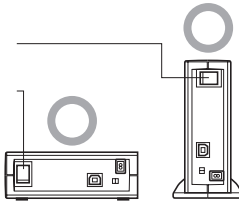
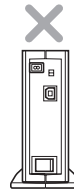
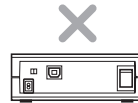
⚠注意 **ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● 複数のUSB機器と併用したいときは、弊社製USBハブUHB-S7/S4（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品からOSを起動することはできません。

● **本製品を横置きにする場合**
付属のゴム足（4個）を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意 **・右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
・本製品を積み重ねないでください。

● **本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。**

＜良い設置例＞　　　　**＜悪い設置例＞**

⚠注意 **動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。**

● **WindowsXP搭載のパソコンで使用する場合**
本製品をUSB1.1準拠のUSBコネクタに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×]をクリックしてください。

● **WindowsMe/98SE/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。**
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● **Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。**
取り外さないとリカバリできません。

● **本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品作動時は布などをかぶせないようにしてくだい。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。**

● **ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。**

ハードディスクの取り外しかた

パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順でハードディスクを取り外します。

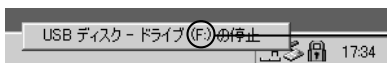
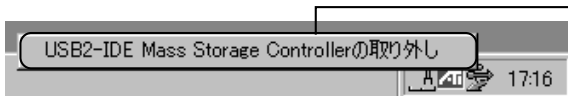
メモ パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

WindowsMe

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[USB ディスク - ドライブ(X:)の停止]をクリックします。**

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。

ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 **「USBディスクは安全に取り外すことができます。」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

4 **ハードディスクを取り外します。**

Windows98SE/98

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。**

2

[USB2-IDE Mass Strage Controllerの取り外し]をクリックします。

3 **「デバイスは取り外すことができます。」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

4 **ハードディスクを取り外します。**

WindowsXP/2000

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。また、ハードディスク内にNTFSでフォーマット【P23 手順19参照】したパーティションがあるかどうかによって、取り外しの手順は異なります。また、以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

NTFS でフォーマットしたパーティションがない場合

1 **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン（WindowsXP）/ （Windows2000）をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ（X:）を停止します]をクリックします。**

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。
WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。

3 **[USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。]と表示されたら、[OK]をクリックし、ハードディスクを取り外します。**

メモ WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合

⚠注意 パソコンの動作中にハードディスクを取り外すことはできません。

1 **WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。**

2 **ハードディスクを取り外します。**

Macintosh

1 **ハードディスク（本製品）のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 **ハードディスクを取り外します。**